

日本、サモアに勝つ

1次リーグ2勝1敗
ラグビーW杯 8強入りへ前進

【トゥールーズ(フランス)共同】ラグビーのワールドカップ(W杯)フランス大会で1次リーグD組の日本は28日、トゥールーズでの第3戦でサモアに28-22で競り勝った。2勝1敗の勝ち点9で同組2位に浮上し、2019年日本大会に続く8強入りに前進した。



日本ーサモア 前半、トライを決めるラブスカフ
ニ(中央) トゥールーズ(共同)

8日アルゼンチン戦

日本は1次リーグ突破を懸けて、10月8日に強豪のアルゼンチンとの最終第4戦に臨む。

日本は試合直前に欠場が決まったSH流大に代わって斎藤直人(ともに東京S

ラグビーW杯 日本の1次リーグ			
○ 42 - 12 ●	チリ		
● 12 - 34 ○	イングランド		
○ 28 - 22 ●	サモア		
10月8日20:00	アルゼンチン		

※日時は日本時間

稲垣啓太(埼玉・新潟市秋葉区出身)は先発出場。後半に交代するまで前線で奮闘した。1勝2敗のサモアは7点差以内の負けに与えられるボーナス点1を加点し、勝ち点6とした。

25日付世界ランキングで13位の日本は、同12位のサモアとの通算対戦成績を6勝12敗とした。W杯では3大会連続の対戦で日本の3連勝となった。